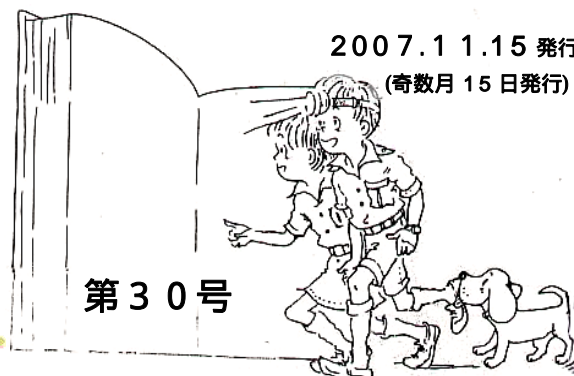


# にのみやまちとしょかん 図書館だより

第30号



## 特集

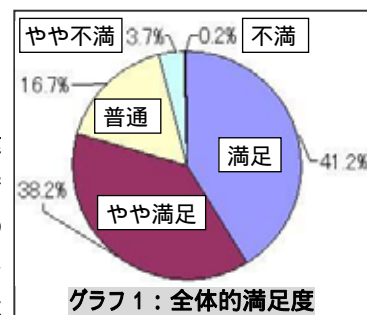
## 図書館利用者アンケート結果報告

二宮町図書館では2007年7月5日(木)から7月7日(土)の3日間、中学生以上の来館者を対象に利用者アンケートを実施しました。2000年11月にラディアンに移転してから初めてのアンケートということで、日ごろ図書館についてどのようなことを皆様が感じているのか、どのくらい満足されているのかを知る貴重な機会となりました。

詳しいアンケート内容や集計結果については10月末から館内に掲示してありますが、今回の特集ではアンケート結果の概要を簡単にまとめてお伝えします。

### 回答者について

今回のアンケートでは、配布枚数 1076 枚のうち回収枚数 868 枚という高い回収率 (80.7%) で、調査にご協力いただきました。回答者の性別は、女性54%、男性46%でほぼ同数でした。年代は、30代~60代が約20%ずつ、10代20代が若干少ないものの70代以上の方の回答も10%を超えており、各年代偏ることなく利用されている印象でした。住まいは、町外が35.5%、登録率も3割が町外で、大磯や小田原の方の利用が多くなっているようです。図書館の利用頻度は「月1,2回」と「週1,2回」で全体の85%以上を占めており、日常的に図書館を利用していることがうかがえました。また、図書館でのお気に入りの場所の回答では、最も人気だったのが「一般書コーナー」、次に「新聞雑誌コーナー」でした。3番目には「子どもの本コーナー」が入っており、大人にも人気があることがわかりました。



### 調査について

アンケートの問1~7は選択回答形式で、満足度については満足・やや満足・普通・やや不満・不満の5段階と、設問により知らない・関心がないを加えた選択肢から回答を得ました。

#### 問1.来館目的

「図書・AVを借りる、返すため」という回答がやはりトップでした。ついで「本や雑誌を読むため」。また、「調べ物をするため」という回答も比較的多いようでした。

#### 問2.全体的満足度 グラフ1

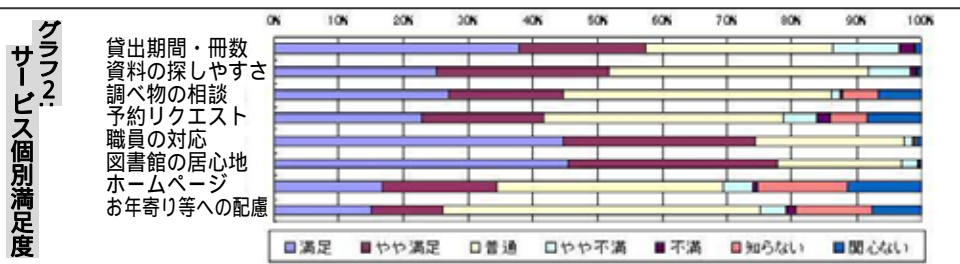
図書館全体の満足度は、「満足」がトップで、「やや満足」との回答と合わせてほぼ80%に達していました。「やや不満」と「不満」は合わせて約4%でした。

#### 問3.サービス個別満足度 グラフ2

「職員の対応」と「図書館の居心地」についての満足度は、「満足」「やや満足」とを合わせて80%近くに達しており、よい評価をいただいているようです。ついで「貸出期間」「資料の探しやすさ」の満足度が比較的高いようでした。「知らない」サービスとしては、「図書館のホームページ」との回答が14%であがっており、今年の1月から始まった新しいサービスのために周知度が他のサービスと比べて低くなっているようです。「お年寄りへの配慮」については、具体的にわかりづらいということも満足度が高い理由にあるのではないかと思います。

#### 集計を終えて

図書館では、この貴重な調査結果を今後の図書館運営に反映させ、資料の収集やサービス等の充実と利用の向上を図っていきたくと考えています。



#### 問4.資料個別満足度

所蔵資料についての満足度は、満足度が高い順に 図書、雑誌、新聞、AVで、AV資料の評価が「やや不満」に近い「普通」という結果になっていました。

#### 問5.サービス要望

要望の1位は「インターネットサービス」でしたが、これはインターネットからの予約受付サービスが開始される以前に実施したアンケートであったため、予約受付サービスの充実が含まれた回答と予測されます。関連して「予約リクエストサービス」が2位、ほぼ同数で「講演会等の行事」があがっていました。

#### 問6 問7.資料要望

今後充実して欲しい図書の分野では、「小説等の文学」が最も多く、予約や貸出が多い分野と比例していました。続いて「芸術」「旅行」「料理」と生活に関連が深い分野の要望が多いことがわかりました。また、図書以外の資料の要望については、特に映像資料の充実があがっており、図書等に比べて回転率(利用率)が高いため新しい資料を求める傾向があるといえます。

# 新しく入った本 CD DVD

2007年9～10月新着分より

(著编者 / 出版社 / 出版年月 / 請求記号)

本

画像  
なし

## 『裁判員制度の正体』

(西野喜一 / 講談社 / '07.8 / 327.6 ニ)  
元判事の大学教授が裁判員制度の概要や立法の経過、問題点や危険性をわかりやすく説明しています。裁判員を逃れる方法まで伝授する、日本の司法に警鐘をならす一冊です。

画像  
なし

## 『あなたの知らないミミズのはなし』

(山村紳一郎 / 大月書店 / '07.5 / 483.9 ヲ)  
眼も鼻も手足もない、不気味な印象のミミズは、自然界のリサイクルに不可欠です。そんなミミズの知られざる生態が絵と写真で解説され、興味深いミミズの素顔に迫ります。

画像  
なし

## 『金メダリストは知っていた！』

- スポーツ科学が明かす陸上競技の新常識 -  
(水城昭彦 / 技術評論社 / '07.7 / 782 ミ)  
砲丸投げの理想的な投射角は？陸上競技を題材にしたスポーツ科学の興味深い話題が集められています。科学の視点からみると新たなおもしろさがみえてくるかもしれません。

画像  
なし

## 『猫から出たマコト』

(赤瀬川原平 / 日本出版社 / '07.6 / 645.7 フ)  
文・写真・イラストすべてが猫尽くしのビジュアルブック。猫にまつわることわざや慣用句を取り上げ、独特の解釈で読み解きます。そして猫の不思議があれこれ見えてきます。

画像  
なし

## 『ゆずりはの詩』

(田中陽子 / 主婦と生活社 / '07.6 / 750.2 タ)  
東北の手仕事を紹介してきた作者が伝えたかったのは、作品にこめられた作り手の魂であり、人生でした。便利さばかりが身についた次世代に引き継ぐべきものは、何でしょうか。

画像  
なし

## 『この人と結婚するかも』

(中島たい子 / 集英社 / '07.9 / ㊦)  
「この人と結婚…」と勘違いのドキドキから醒め、自分自身を見つめる目を開く女性を爽やかに描いた表題作。男性側の勘違い『ケイタリング・ドライブ』も収録されています。

## 録音 CD

画像  
なし

## 『男のウェディング・ソング』

(エレクトリック・ライト・オーケストラ [ほか] 演奏 / 69分 / 453 オ)

「男の」と銘打つとおりウェディングには縁遠い選曲もいくつかあります。でも、解説書掲載の「オススメ演出表」と照らし合わせるとなんとなく納得。

## 映像 DVD

画像  
なし

(演奏者、出演者 / 収録時間 / 請求記号)

## 『河は眠らない』

(開高健出演 / 60分 / 787 カ)

アラスカの原野を背景に開高健氏が自然や釣りに例えて人生哲学を語ります。終盤の60ポンド近いキングサーモンとの闘いは目を離せません。目、頭、心に響く見るエッセイ。

## 展示テーブルから

11月の展示テーマ

わたしのおうち

画像  
なし

今月の紹介本

## 『世界でたったひとつのわが家』

(大平一枝 / 講談社 / '05.7 / 527.0 オ)



ふう～ん

チャキチャキの江戸っ子のチャキチャキとは？

みなさんはどんな家に住んでいますか？今月は「家」をテーマに、みなさんのこれからの家づくりに役立つような本を集めました。インテリア雑貨の本などは眺めているだけでも楽しいものです。

そのなかから紹介する本書は、少ない予算でなんとか理想の家をつくりたいという作者の奮闘ぶりが楽しい一冊です。新しい家で起こるすべての出来事がうれしくて楽しいという毎日の様子が伝わってきます。実際に家ができあがってみてから気づくこともたくさんあるようです。家づくりは、最初から完璧でないほうがよいのかもしれない。足りないところにはその都度足していけばよいのです。それが家づくりのおもしろいところでもあるのでしょう。

威勢の良い語感からきたように思えるが、チャキチャキは漢字で書くと「嫡々」。嫡は「正しい跡取りの血筋」を意味する言葉なので、嫡々はそれを2つ重ねて「正統で生粋」という意味になる。つまり、1代目や2代目ではなく3代以上続いた江戸っ子が本来の意味でのチャキチャキの江戸っ子ということになる。



# 講演会を終えて

二宮町図書館講演会「ふるさとと私 二宮・小田原を掘り続ける日々を語る」

9月17日敬老の日、図書館主催の講演会「ふるさとと私」をラディアンミーティングルームで開催しました。講師は雑誌「かながわ風土記」に24年間エッセイを連載されているノンフィクション作家の新井恵美子氏でした。

当日会場は70名以上の参加者でほぼ満席となりました。新井氏の熱意が伝わる心のこもったお話を参加者は熱心に聞いていましたが、ときどき笑いがもれる場面などがあり、会場は終始和やかな雰囲気でした。お話の内容は、国府津で小学校から高校時代を過ごした思い出や、戦中の時代を生きる祖父のこと、雑誌「平凡」を創

刊した父親の苦労や裏話、美空ひばりとのエピソードなど二宮の近隣で起こった出来事をおりまぜながらの体験談で、2時間の講演があつという間に感じられました。

アンケートでは「周辺に暮らしながら知らないことが多く、楽しく聞くことができました」「幼、小、青春時代の見聞と重なる事柄も多く大変興味深く聴講しました」などの感想をいただきました。



講演会の様子(中央は講師の新井恵美子氏)

## ベストオーダー

2007年9月～10月

この期間に予約が多かった本です

### 【一般書 ベスト10】

- 1 楽園 上・下 / 宮部みゆき
- 2 女性の品格 / 坂東真理子
- 3 夜明けの街で / 東野圭吾
- 4 幻香 / 内田康夫
- 5 追伸 / 真保裕一
- 6 おひとりさまの老後 / 上野千鶴子
- 7 警官の血 上・下 / 佐々木譲
- 8 陰日向に咲く / 劇団ひとり
- 9 探偵ガリレオ / 東野圭吾
- 10 吉原手引草 / 松井今朝子

### 【児童書 ベスト5】

- 1 包帯クラブ
- 2 ハリー・ポッターと謎のプリンス 上・下
- 3 バッテリー (全6巻)
- 4 レンアイの法則
- 5 黒魔女さんが通る!! Part 3

## 二宮ゆかりの人物

しおざき ひこいち

塩崎 彦市 (徳富蘇峰記念館設立者)

徳富蘇峰記念館については第27号('07年5月号)で特集しましたが、記念館が建つ敷地は「蘇峰堂」と呼ばれ梅の名所としても有名です。ここは熱海の「晩晴草堂」に住んでいた徳富蘇峰のもとへ通う塩崎彦市が、東海道線の車窓から見える梅林が気に入って、昭和21年に購入し住まいとした場所です。「蘇峰堂」の名は、この梅林を愛ししばしば訪れた蘇峰自らが命名したことに由来します。今回は記念館学芸員の高野静子さんにうかがったお話の内容を交えて、塩崎彦市について紹介します。

塩崎彦市は1899年(明治32年)神奈川県に生まれました。明治、大正時代には多くの人々が蘇峰の講演を聞き、著書を愛読し大きな影響を受けましたが、塩崎もその一人でした。17歳の頃には小遣いを使い果たして蘇峰の揮毫の扁額を手に入れ、その感激を一生持ち続け、蘇峰の書いた紙一片をも大切に保管しました。蘇峰に対する敬慕の念は益々深くなり、大正8年に蘇峰が悪性盲腸を患った時には、一ファンとして病床の蘇峰に何度も野菜スープを届けたこともありました。その親身な心遣いは蘇峰の信頼を得ることになり、昭和15年頃から蘇峰が亡くなる昭和32年まで、戦中戦後の17年間を秘書として苦楽を共にしました。特にこの時期、高齢の蘇峰の手足となって、政界、軍部、報道の中核である東條英機、松岡洋右、正力松太郎、緒方竹虎、吉田茂などへの書簡の連絡などに尽力しました。そして苦しい日々を送っていた蘇峰を変わることなく尊敬し、常に力付け傍に付き添い続けました。蘇峰最晩年(昭和29年～31年)に読売新聞紙上で連載され後に出版された『三代人物史』は、蘇峰の口述を塩崎が記録したものです。蘇峰は熱海の晩晴草堂の海見える部屋に机とベッドを置き、書を読

み、想を練って、塩崎に口述し、その稿の一字一句を間違いなく確かめたそうです。このような長年にわたる誠意に対し、蘇峰は書簡、蔵書、原稿、揮毫等膨大な遺品の大部分を塩崎に贈与し後を託しました。

塩崎は秘書としての立場から蘇峰を通しての交友関係も広く、棟方志功(版画家)、川田順(実業家、歌人)などが蘇峰堂を訪れました。棟方志功も蘇峰を尊敬しており、塩崎とも長い間親しい交流があり、記念館の入口にある樹齢300年のざくろの絵などを描いたりしました。また川田順は、弟子の俊子さんとの恋愛騒動で関西から国府津に移り住み世間から離れて暮らしていましたが、その頃から月に一度塩崎宅でご家族と夕食を共にされ、くつろいだ貴重な時間を楽しんでいたようです。

生涯蘇峰を敬い続けた塩崎は、昭和39年に正力松太郎を理事長として「蘇峰先生彰徳会」を発足させ、昭和42年から51年までの約10年間、機関紙「晩晴」を15号まで編集、発行しました。昭和44年には記念館を設立し、一生を蘇峰につくした塩崎は1978年(昭和53年)11月79歳で亡くなりました。記念館は、その遺志を継いだ遺族の方々が「徳富蘇峰記念塩崎財団」を設立し、昭和54年に県内17番目の博物館として公開され、現在も蘇峰研究には欠かせない重要な場となっています。



昭和52年蘇峰堂にて撮影  
(写真提供:徳富蘇峰記念館)

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

参考資料 『蘇峰とその時代』(高野静子著/中央公論社/1988/289.1ト) 『続 蘇峰とその時代』(高野静子著/徳富蘇峰記念館/1998/289.1ト) 『徳富蘇峰宛書簡目録』(徳富蘇峰記念塩崎財団編/徳富蘇峰記念館/1995/NA1) 『死と愛と - 随筆 - 』(川田俊子著/読売新聞社/1970/K 23.1 W4) 『三代人物史』(徳富蘇峰著/読売新聞社/1971/281ト) 『ファミリー・ハイキング二宮史跡めぐり』(二宮町広報編集委員会編/二宮町/1984/NG C0)

# お知らせ・お願い

## 特別館内整理（蔵書点検）が終了しました

休館中にご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

## 10月よりインターネットからの予約を開始しました

10月一ヶ月間のインターネットからの予約受付件数は253件でした。

予約できる資料は、貸出中の図書・雑誌です。

インターネット予約の詳細についてはホームページをご覧ください。

## 新しい雑誌が入りました

「俳句」(10月号～) 「つり人」(11月号～)

「新しい住まいの設計」(11月号～)

## 雑誌の休刊のお知らせ

「美しい部屋」(No73で休刊)

「つりMagazine」(2007年9月号で休刊)

「TC(チケットクラシック)」(2007年10月号で休刊)

「New HOUSE」(2007年10月号で休刊)

## 年末年始休館のお知らせ

12月28日(金)～1月4日(金)まで休館させていただきます。

休館中の返却ポストへの返却はご遠慮ください。

# 利用者の声Q&A

**Q：自分の資料を図書館でコピーできますか？**

**A：**ご自分の資料のコピーはできません。図書館内のコピー機は、著作権法(31条)の範囲内での使用となり、コピーできるのは図書館所蔵資料に限られます。全ページをコピーすること、同じページを複数コピーすることもできません。利用の際はカウンターでお申し込みください。なお、ラディアンモールに設置されているコピー機では、ご自分の資料のコピーができますので、ご利用ください。

# 行事

くわしくはお問い合わせください。

11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

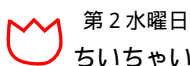
12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1月

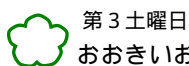
日	月	火	水	木	金	土
						1
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■ 休館日



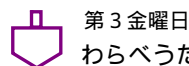
第2水曜日

ちいちゃいおはなし会



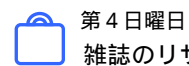
第3土曜日

おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とありがみあそび



第3金曜日

わらべうたであそぼう!



第4日曜日

雑誌のリサイクルコーナー

# 展示テーマ

10月 | 一般 / 『考える』  
 児童 / 『祭』  
 A V / 『車!くるま!クルマ!』

11月 | 一般 / 『わたしのおうち』  
 児童 / 『スウェーデンの子どもの本』  
 - アストリッド・リンドグレーンの生誕100年を記念して

## 特設展示

10月・・・『ことば・コトバ・言葉 ～日本語を楽しむ～』

## 地域資料コーナー 展示ケース

10～12月・・・『二宮ゆかりの人物 阿川弘之』

1～3月・・・『二宮ゆかりの人物 塩崎彦市』

## 書庫の本紹介コーナー

10～12月・・・『青春小説 五木寛之、北杜夫、星新一、椎名誠』

1～3月・・・『歴史小説 戦国武将編』

## ひとつだけ ～編集後記にかえて

夜空が澄み渡るこの季節、アンデルセンの『絵のない絵本』が無性に読みたくなる。世界の隅々を見下ろす月が、孤独な画家に自分が見てきた光景を語りかける三十三夜の物語。子供の頃は、異国の地に思いを馳せ、月になってみたいと思ったものだった。今でも夜空を見上げると月は、昔と変わらぬ姿で、微笑んでくれるようでほっとする。日々の忙しさに流されてしまいがちな毎日だけど、たまには、月と会話する気持ちの余裕も必要なのかもしれない。

編集・発行 二宮町図書館

住所 二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

☎ 図書館だよりテープ版もあります!お問い合わせください。

